

人口問題研究所
研究資料第25號

昭和廿三年五月

アメリカ人口問題資料 其の四

（國家資源調査局人口問題委員會報告

「セ・プロブレム・オブ・チエンジグ・ホピュレーション」第九章

厚生省人口問題研究所

はしがき

本輯はアメリカ合衆國の國家資源調査の人口問題委員会の報告書「ゼ・プログレム・オブ・チエンジング・カピタル」(一九三八年)の第九章「アメリカの生活における文化的差異」(Cultural Diversity in American Life (二二二—二五二頁))の大意を専ら簡畧を旨として紹介するものである。内容は主としてアメリカ人口における各種の文化的異質集團の變遷を究明したものであるが、所論は今日のアメリカ文化の根本問題に並り、文化と人口との一般的問題にまでも備わっている。特に都市人口の代表する近代文化とその人口増殖力との關係を究明するに對した密接關係に注目し、將來における人口問題が文化問題と不可分の關係をもちたるを伺ふことを指摘している。是は、將來における家族生活の文化的意義に対する注意の喚起や過度なる大家族主義の普及への期待と共に本單の特に興味を惹くところである。

なお附録の「アメリカ人口問題」は全く本委員會からの報告の總括的序論として編集せる別冊小パンフレット「人口問題」の大意譯で、故左右田技官の手になる暫定的譯稿を本單技官の補筆せるものである。(本多技官記)

アメリカの生活に於ける文化的差異と対立

一、緒言

地理的な隔離によつて、或は人種的な特徴によつて、或は特殊の言語や宗教によつて、乃至は経済的な特殊事情によつて孤立した特定の生活集団は集団固有の種々の社会的価値を發展させ、その成員各個の個性的な行動や態度を方向付ける。それがそのような生活集団の文化的遺傳 *Cultural Heritage* とよばれるべきものである。その結果として各個の生活集団は相互に接觸するとき互に交際嫌惡の情を感ずるのを通則とする。尤も一部の成員中には異文化との接觸を個人的經驗を異常に拡大するものとして歓迎する好奇的世辭の所有者もあるし、また反対に異文化の交流を社会的混亂の原因として絶對的に排撃しようとする者もいるが、どちらも行きすぎた考え方で、各種の文化的遺傳の伝承と交流についてはもつと穩当な見方がなけれはならぬ。

特にアメリカにおける問題の尸次を回顧してみると、その文化的な差異と対立はそれ自身を目的として培養されたものというよりも寧ろ地理的竝に尸次のな事情によつて自然に發生

したものである。特に黒人奴隷の輸入や外国移入民の受入れなどを全く経済的を必要から行わ
れたもので、之に対しては特に文化的見地からする一部の反対論もないことはなかつたが、
大勢はアメリカを以つて凡ゆる国々の被抑圧者たちのための避難所であるとする寛大を理想
を当然のこととしていた。現行移民法の施行はその奥で確かに一時期を勤するもので、それ
は経済と文化との両見地をとりまぜた混成物といつてよいものであるが、それでもなお文化
的な見地は経済的をそれに較べて極めて軽に扱割りしか果していまいといえよう。

そこで現在のアメリカの人口事情を文化的な見地から考察してどのような問題があるかと
いうと、それはアメリカ人口を單に生物学的見地からみた場合よりも遙かに複雑な問題を含
んでゐる。生物学的にはこの國の最初の移住者である北西歐洲人が中核をなしており、一九
二〇年でも全國人口の七五%を占めてゐる。特にこの最初の移住者たちは農村地方に住んで
おり、その後特に北西地方に遣入り込んだ新移入民も全系の独乙人やスカンジナビア人で
あつて、これらの農村地域の出生率が都市へ流入せる其他の外国移入民の出生率よりも高い
ことは全國人口における北西歐洲人系の比重を非常に安固なものにしてゐるのである。少数

民族の中には極めて高い出生率をもっているものもいろいろあるが、その絶対数が極めて小さいのでさして問題とするに足りないところから文化的見地から考察すると問題は更に遙かに複雑なものとなる。というわけは文化的影響力は常に都市から地方へという方向をとっているが、この都市にこそ最大の文化的異質性が存在しているからである。また組織された小教者の力は未組織の多数の力より強いのが普通であり、就中階級意識の意藤はこの関係を更に複雑にしているからである。また都市における文化的混乱は都市人口から人口そのもの、自給力を喪失させており、また厚く都市民を聚うて精神的な破産状態にまで駆り立て、(因みに金国病院の病状患者總数中の六割は神経系疾患による入院患者である) 二の突情に當面してわしわしの問題は次の真を明らかにするとともに受け止むべきであらう。即ち種々雑多な文化の交流はより一層合理的にして洗練せられた文化を生むものであるか、それともまた文化そのものの基礎を破壊し、原始的な感情の迸発を結果し、結局するところ破滅的な社会的紛擾を惹きおこすことになるものであろうかど、そしてこのような問題の考察は人口問題の立場から求めたて思緒に訴へるべきであらうと見る問題でなければならぬ。

三 合衆國における文化的対立

(四) 農村地域における文化的差異

農村地方における文化的差異は都市的には都市との交渉程度の差異如何に帰着するといつてよいが、しかもその差異の特に顯著に發揮されるのは特定の民族的差異がその他の諸事情によつて補強せられる場合で、例を以て綿糸煙草の栽培地域における白人と黒人の場合のよう特に貧困によつて、或は北西部地方の一部の移民と土著の人、今エツク人の集團の如くその言語によつて、或はモルモン教徒の場合の如く宗教によつて、或は南西部地方のメキシコ人の如くその労働移民たる特徴によつてその文化的差異はより著しいものとなる。それらに概ね共通の特徴は強固な家族觀念や確固な信條信念などであるが、極端な高出生率も亦その一つにあげうる。但しこの高出生率も最近では低下の傾向があり、どういふのみでは孤立的な生活集團としての特徴も漸次稀薄的の邊程にあるといふことができる。

二此らの農村地方における文化的差異の問題として特に注目すべきものを列記すれば凡そ左の如くである。

(一) 北西部地方における移民と昔からの居住者たちとの間の關係は都市における場合

と載べて殆んど問題とするほどのことがない。その經濟的地位も殆んど対等であり、そして婚姻關係の上でも漸次同化過程をとつてゐるといえる。

(B) 人種的差異を根本とするものは南西部地方のスペイン系アメリカ人である。その内、既に地主となつてゐる者は北西部地方の北西歐洲人系と文化的に殆んど差異がないが、問題はその餘のメキシコからの移住者たちで、總數三百万と推定されるスペイン系米国人の大部分を占めるものである。彼等は特に今世紀以降鉄道の開通、農業の發展につれて國境を越えて移住してきた不熟練労働者群で、主として日傭労働者又は小作人としてテキサス、アリゾナ、ニューメキシコ等の棉作地方におり、季節的移動をその特徴としてゐるものたちである。文化程度は極端に低く、季節的移動者として子供の教育施設などには全く見るべきものがない。

(C) 文化的に最も興味ある特異な集団はニュー・イングランドの清教徒の子孫であるモルモン教徒たちで、社会的團結も強く、また独特の多妻制度を維持してゐる。出生率も従つて極めて高いが、但しモルモン教徒の多しユタ州の出生率も最近では低下の傾向にある。

(二) 別の意味で特異な文化的差異を示しているのは南東部地方の旧アメリカ人たちで、之はアメリカの中核的人種に属するものであり乍ら、その地理的、經濟的並に社会的孤立の結果、特異の文化的差異を示すような結果になつてゐる。彼らは字義通りの意味でのプロテスタントで、家族愛が強く、父家長的家族制度をもち、情緒的にも極めて宗教的であり、特に反政府的、個人主義的感情が強い。一言にしていえば一世紀前のアメリカ國民の國民性を代表してゐるといつてよいのである。特に細別すると縮作地方の小農や小作人たちと南方高地住民との二種類に分けられるが、生木のアメリカ文化の代表者たる意味は後者に於いて特に著しい。

(三) 都市に於ける文化的差異

(イ) 都市における文化的差異の問題の第一は外國からの新移民についてであるが、これも文化的には結局農村から都市への人口移動の問題に帰着しよう。然し彼らが急速な同化過程を辿つてゐることは最近十五年間の統計が示すその出生率の低下傾向である。外國移民の出生率低下傾向は農村地方についても同様認められるが、但し都市に於いて一層顕著であ

る。その他、犯罪率などを例にとつてみて、新外來者は旧人口に対して特別の考慮に値いするほどの差異を示していない。

(口) 外國移入民の都市流入も結局は都市人口移動の問題に帰着するが、特に移民制限後は殆んど国内移動の問題が中心となつた。そして国内移動の問題として文化的に特に重視すべきものは第一次大戦以降に加速度的に増大した黒人と特に南東部地方の白人の北上傾向である。

三、若干の指標による文化水準差異の測定

新聞の購讀頻度、主要雑誌の購讀頻度、ラジオ聴取者数、圖書館の利用度、或は軍隊における出生地別の如能係數調査の結果などによつて全国における文化的水準の地域的差異を測定して見て、その傾向は大体一致しており、且つ經濟的生態水準の分布図と殆んど全く結果を併してある。(圖表を省略、本研究資料第22号、アメリカ人口問題資料その一を参照せよ。)

四、少数民族集団に対する文化的評價の變遷

文化的な特異性をもつ少数民族は嘗ては「アメリカ化」の理想から極端に敵視されたこと
があるが、しかしその後はその反対とはいえないまでも考え方は相当に変わってきており、少
数集団の文化的価値を認識しようとする方向へ向いているといえる。

蓋し大伽藍や古い家族的伝承、或は古い民族歌謡をもたないアメリカにとってそれら
は唯一の文化的遺産であり、文化的資源として尊重せられなければならないからであるが、更に
之に加へて民主主義的及び人道主義的を本能からする力添へも亦大きいといえる。凡て
の責任に対し平等の機会を與えようとする理想、即ち寛大寛容の原理が文化的多様性に対す
る再評価を要請するようになったといつてよいのである。

そのような價值評價の変遷の实例としてはアメリカン・インディアンに対する最近の保護政
策的立法をあげることが出来る。一九三四年の Wheeler-Howard Indian Reorganization
Act と一九三六年の Oklahoma Indian General Welfare Bill はその立法的具体化を示

すもので、彼らの固有文化を進んで保護し防護することを目的としている。

もう一つの大きな問題は黒人問題であるが、その文化的保全は特に役等の都市移動が始まっ

それ以来極めて困難な課題となつて了つた。というのは黒人階級の優秀な知識階級分子やムラ
トは文化的には白人化しつつあるといつてよく、従つて黒人の文化的特性を保全し發展させ
るためにはその肝腎の指導者層がよいといふ結果になつてゐるからである。

五 アメリカ文化における相互背反的交流

今日のアメリカ文化問題をとりあげるに當つて基本的な視点を提供する根本の事實は都会
と地方との間に行はれてゐる正逆相反擦する交流である。即ち人口は農村から都市へと不漸
の移動過程にあるが、反之物質的意匠や乃至は一般的嗜好や觀念は都會から地方へという
方向に動いてゐる。この交流に混つて種々の経済的協同や競争、公共学校制度、或は政治的
な組織と競争その他宗教的、文學的影響が入り交つて作用しており、そしてその大勢は種々
の伝統的な文化を合化し、一つの全質的なアメリカ文明へ綜合しようとする傾向を示してい
る。この運動にあつて最も基本的にして新しいモチーフは機械技術の發達で、大量生産によ
る商品や勞働の單一化傾向は文化的差異に對して明らかに正反對の方向を示してゐる。乍併
、そこにまた新しい文化的モチーフの萌芽が全くないわけではなない。例えは大量生産は最

初は消費層の要求を無視した製造業層の独裁的支配を齎したが、然しその後事情は支配権が次第にデパート経営者の如き分配業層の手に移りつゝ、あることを示し、商岳意匠の研究が新らたに起りつゝ、あると云つたような事柄である。

そこで問題の核心は文化的な標準化と多様性の対立 *Standardization Versus*

Versatility といふところに移動して来るが、さういふのみでそれは又アメリカ人口問題の

將床と切り離すことのできなぬ閉鎖をもつてくることになる。というのはアメリカは嘗てはオホチユニチーの国という理想通り仁豊富を資源を基として異常な人口増加と経済的発展を遂げてきたが、それと既に一応の峠に達した観があり、今後の物質的進歩は土地から引き出される富よりも寧ろ人間の努力を有効に組織することによつて可能な購買とサーヴィスに俟たなければならぬからで、それは当然に文化の問題と不可分のつながりをもつてくることとなるからである。

アメリカ文化の根本基調はデモクラシーにあるが、今日までのデモクラシーの基礎は変化に富んだ未開拓の国土や、文化的遺産の多様さや、或は地方的利害の多様性を前提とせる自

由なオホキエニテイーにあつたといえる。が今後の途は、若しデモクラシーにして保存せらるべきものであるならば、最高度の寛容と、また個人的な創意、批評的な知性及び自由なる冒險への協力を實現せしむるに足るところの新しい文化的な組織によつて保証せられねばならぬ。デモクラシーとは單に機械的な選挙投票をいみするものではなからぬ。それは言わば近代生活における生命力でなければならぬのである。そしてアメリカ人口問題の将来はさういふいみでの新しい文化的組織と理想とに關聯するところ極めて多いのである。

蓋し文化的知的發達と人口増殖力との間にみられる今日の消極的、相互拮抗的の關係は決して正常なものとはいえないからで、人口の増殖力が文化や社会理想と拮抗的の關係にあるとせばその國の文明は決して長期に亘つて安定し乃至は進歩することはできないのである。

將來に期待される新しい文化への展望にとつて特に主要なのは家族生活の文化的機能に關する問題である。それは安定せる情緒と正常な人格の發展のための最も根源的な基礎としてその意義を改めて再認せらるゝところがなければならぬ。情緒的人格的安定性を喪失し神經病的病狀の濃厚な今日の都市文明下にそのことは特に必要であるが、またその人口の再生

産力に不足した今日の文明下では適度に大きな家族 *moderately large family* を作ることを自ら欲し、又これを可能ならしむるような経済的故に文化的諸条件を建設すること如何も必要である。自ら欲せざる出産に対する近代人の反動は確かに貧者の多産という暗黒面を強く見せかけてゐる傾向がある。その反動として、適度に大きな家族に対する嗜好がこたへられはならぬ。それは寧ろ人口問題の上から好ましいことであるばかりでなく、文化的にも亦有益な傾向でなければならぬ。夫婦と一人乃至三人の子供だけの家族ということは確かに一つの勝れた存在聖由をもつてゐるけれども、然し情緒の満足や人格の充分なる養育という点ではむしろやはり適度の大家族に較べて劣つたものでなければならぬ。少くとも適度の大家族を維持する経済的條件が與へらるゝ限り、そのような大家族に倣つたものとはいふまいのである。

要之、現代のアメリカの文明的潮流には文化の標準的均一化の傾向は強まるが、然し又新しい生き方へのモチーフもあり実験もある。又、家長的家族制度や欲せざる出産による人口増加は衰へてゆく傾向にあるが、然し家族生活の新しい意義を認識しようとする方向もな

いとはいえない。之らの文化的発展は、経済的変化の反映と外をうむが、然し又逆に將來の
経済的変化を支配するところの要因となるもので、従つて又將來人口の發展と個人の發展の
機会をも規定するところの重要な要因をなす收はならぬ。

(以 上)

アメリカ人口問題

緒 言

わがわがが静止人口または減退人口の時代に近づきつゝあるといふことは多くのアメリカ人にとつて一種の驚きを抱えているようである。わがわがの国家的発展は人口の急激な発展にいろいろと阻まれてきた。わがわがの民主制度の下における國家資源の保存と利用の計畫は人口中の凡ての集団に所謂アメリカ的生活水準を漸次可能ならしめることを目的とする。わがわがの國家資源・産業施設及び社会的限同の凡ての形式は人々の福祉に貢献する限りにおいて何倍がある。國家政策はかくてアメリカ人口の趨勢の問題について深甚なる考慮を拂はねばならぬ。

國家資源の賢明なる利用計畫を援助するために國家資源委員会はその科學三十委員会に對しわがわがの最も緊急を要する人口問題の研究を促すよう要望した。科學委員会はこの問題に對する報告書を編製するために人口學門家の特別委員會を創設した。その報告書の概要は以

下のおりである。

静止人口への動向

アメリカの人口はもろ今までのようには増加してはいない。大量の移入民が許されるか、思
いかけないような出生率の増加がなにかおわり、人口増加率は減少しつつ、一九七五年ごろ
には多分一億六千万より多くはない一頂真に達するであろう。そしてその時から人口は停止
し又は減少しはじめるであろう。

人口の予測をするために専門委員会は種々の出生率と種々の移入民量との影響を考慮しつ
つ、最高と最低の総人口を推計した。

人口増加の減少は第一に出生率の減退によつて説明せられる。出生率が過去一世紀ちかく
この間減少しつつ、おきてきたといふことは一般の切実な注意を怠かなかつた。最近までこの減
少は死亡率の減少や外国からの莫大の移入民、それにアメリカ人口がその年令構成上他の國
々に比較して異常に大きい妊孕年令女子の割合をもつていたといふ事実によつて相殺されて
いたのである。しかし出生率の減少は今やこれらの人口を増加させる他の諸要因を凌駕する

に到つた。

人口の自然的増加は出生の死亡に対する超過によつて測定される。人口の自然増加は二〇年代のはじめ（一九二〇—二四年）に年百五十万の峰に達した。それから十年後（一九三〇—三四年）にはそれは年平均百万に達しなかつた。移入民の減少により總人口の増加の減退は自然増加の減退よりも更に一層急速であつた。

しかし停止人口への豫想は何も特別の警戒を要する性質のものではない。人口専門家の最もひかえめな豫測によつても一九八〇年のアメリカ人口は今日のそれと同様である。多産的で強力な外國人口に対し國家を防護するため大きな人口を必要とするという考えは過去の歴史に依據した考案で、現代の軍事的体験からは殆んど支持し難いものである。今日においては富や技術的熟練、人々の組織や志氣といつたものはその軍事的な重要性において單なる数の方より恐らく遙かに大きいといつてよいのである。のみならず、軍事的力の増大を目的とする國家の人口増加政策は一般の生活水準を引き下げることによつて終局において却つて軍事弱衰を招来ことになる。

停止人口の豫想はしかし産業と政治に対して重大な意義をもっている。過去において人口の増加は市場を拡大することにより企業の発展に大きな奇異をもてきた。アメリカの財産所有者は人口増加により莫大の利益を收得した。将来におけるアメリカ商品のための国内市場の継続的増加は人口の量的増加によつては得られない。それは有効な消費者需要の増加、生産力の増加、所得分配の一般化によつて初めて收めらるべきである。

停止人口または減退人口への転化は國民生活にとつて一般に有利である。それはこの國の國民の各々か他の古く世界の國々の國民よりも平均してより多くの支配し得る耕地、鉱物その他の自然資源をもつてけることを意味するからである。それゆゑ水の資源は、もと賢明かつ有効に保存し利用せられるやうに高い生活水準の物質的基礎を供給するであらう。

人口の年令構成の變動

一九七五年の静止人口は一九〇〇年の急速な増加人口に比較してみると、老年令と幼少年令人口の比率に着しい變化をきたすこととなる。即ち老人が比較的は多くなり、子供と若者が少くなる。二〇才乃至六〇才の人口を一〇〇とする割合においてみると、二〇才未満の人

口割合は約半分であり、六五才以上の差は二倍以上に達してきている。即ち出生率と人口によつて養育力にはかなりの差が生じている。この及面、公費も養育費に相対的に減少する傾向がある。

このような趨勢は、其の割合の減少によつて、親類せらぬ。一九三〇年と四〇年の中間においては六五才以上の人口は七百五十万であった。それから四十五年後の一九八〇年には右年令層の人口は大約二千三百万となることとなる。また小学校学令児童数の減少は一九三〇年に顕著なものである。一九三〇年から三四年の間に小学校の在籍児童数は三百万以上を減少した。ハイスクールは一四才乃至一七才の学令子供数は一九四〇年までは増加を続けたが、それ以後は全様に減少過程に進入しはじめる。

しかしこれからはアメリカ國民がどう急速に老令化するものでないことと、強弱せぬはならぬ。生産年令人口の二〇才乃至六四才の總人口に対する割合は十九世紀より二十世紀にかけて明らかに増大してきた。若しい変化は両極端の年令層においておきるので、中間の年令層においてはむしろ減少するのである。

大五才以上の人口の増大は社会的保障立法の必要性から國家の注意を惹くに到つてゐる。しかし生産年令人口の平均年令の増大ということにも注意をむける必要がある。今後の数十年間に豫想せらるる最も大きな変遷は若い成人に比し比較的老年の生産年令人口が増加するということである。一九三〇年から一九七五年までの間に推定される二〇―四四才の人口の増加は六割であるが、四五―六四才の人口は大九割もの増加を豫想されてゐるのである。

産業はこのような労働供給の変化に適應せねばならぬし、社会は莫大の負擔に當面するであらう。その上、老年の労働者は非發展的职业に集中する傾向がある。これらの事情は雇傭條件及び技術的变化のためにその職場を失つた老年労働者たちの適應性を再訓練し増大させるための諸施設がますます重大な意義を有するに到るのであることを示唆する。

人口年令構成の変遷は各種の公共的建設計畫にとつても重大なる關係をもつてゐる。國民全体として學令兒童が増加しないということ、しかし又老年者のための家とか精神病院とかいふような特殊な施設を必要とする老年者が増加するということは十分に認識されねばならぬ。

資源に對する人口の分布

アメリカ合衆國は他の國々に較べて全体として人口は過剰でない。この國の資源に對する人口圧力は継続的な經濟發展を阻害するほど深刻な大いさのしのではない。しかしながら、國の或る部分に於いては經濟的資源に對する人口の圧力が幾百万の人々にとつての永久的な貧困と文化的退墜をもたらす基礎的な原因となつてゐる。

人口と資源との間の不均衡の機率的觀察は大地域別の人口当り平均所得を比較するこゝとによつて尤も明瞭である。一九三九年における推算によると、人口当り平均所得は極西地方と極東地方とが最高である。北西地方と南西地方とがこれに次ぎ、南東地方が最低である。且つその數字は全國平均の半分にも達してゐない。南東地方の地域別にみると、如き改定生活水準は、特に農村人口だけを對象として比較して見ても亦本様に認められる。二〇年代の中間に於ける南東地方の農民の平均生産力は合衆國の他の農民の半分にも及ばず、イギリス等の標準的農民の所得よりかなり低いのである。南東地方は全國農業人口の四〇%をもつてゐるにもかゝらず、その農耕地は全國の一七%しかもつてゐないといふ事實は、その事情を説明する一つの手がかりとならう。

地質、氣候、農耕法、市場への近さなどにおける各地方の差異は確かに顕著なものである。概して合衆国の北部及び西部における農民は古い南部の農民に比較して土壌により恵まれた生活を営みうる地位におかれている。

南東地方における過剰人口と、その結果としての自然資源の涸渇との第一の原因は人口の高い再生産率にある。一九三〇―三四年の間の全米人口の自然増加の半分以上は人口において最も三分の一を占めるに過ぎない南部及北西地方においてなされている。例えばノースカロライナ州の人口自然増加は人口において同州の二倍以上をもつマサチューセツツ、ロードアイランド及びコネティカット三州のそれと合計したものと同様であつた。

右と全概を農民人口と農業資源との間の不均衡は、多少ちがつた理由にはよるか、大平原地帯にも発生した。第一次世界大戦による巨大な食糧の需要によつてこの地方の新しい土地の耕作が促進されると共に残つた未耕地も過度に利用された。是として自然の草履をはぎとられた耕作地は嵐と雨の浸蝕にさらされるに到つた。これらの累積的弊害は最近うちつづく烈しい旱魃が廣泛な不作をもちたらし、また人畜を侵害し幾百万エーカーの土地の肥沃な表土を

を本邦に去つて不毛地と化した砂塵の襲来を結果するに至るまでは此の地方の農民自身と云へば此を認識することゝなかつた。そして今やこの地方の農業人口の密度は稀薄ではあるが、しかもこの土地で十分に扶養されるには余りに多過ぎるといふことが認められるに至つた。このやうな土地利用の變化によつて大平原地方は現在人口の僅かに三分の二を養ひうるに過ぎざらんと推定せられてゐる。

過剰人口は高出生率や大量移民によつて齎らされるばかりでなく、その人口が生活のよりどころとしてゐる自然資源の涸竭によつても亦もたらされる。森林資源の欠乏によつてそのやうな事態の發生した地域は若し何れとしてミシシガッ州の北部の郡、ウィスコンシン州及びミネソタ州を挙げることができよう。森林地帯の再植林や輪伐の管理その他でまうる限りの方策を實施したにも拘らず、なおこの地域に有利な就職口を期待し得ない相当多数の人々が發せられている。

同様の不均等は炭鉱地帯においても惹起された。競争燃料の出現、より採算的を炭鉱の開採、採鉱法の機械化その他の原因によつて炭鉱村は行き詰り、乃至は不完全就業の状態に陥

つた。鉱業人口の多くは炭鉱以外の、乃至はその補助となる暮し方を発見する必要がある。
としてこの種の鉱業人口の大多数がその経済的資源に対し既に過剰人口の状況下にあるア
バチヤ地方に存在することは彼等の窮状をより一層深刻化している。この地方の農業資源
は現在の農民を扶養するにも十分でなく、まして失業化せる炭鉱業者を養うことなどは不可
能なものである。

資源の再調整

アメリカ人の異常な移動性は資源の過剰せる地域や極端な過出生率地域の大量の過剰人
口をさへ防止する。人口の地域移動の実情は一九三〇年におけるカリフォルニア州を除く各
州はすべて他の州へ州内出生人口の一五%以上も送り出しているという事実によつても指極
せられよう。國全体としてみると全一八九三〇年に国内出生の總人口一白人二千二百万、
黒人三百万の殆んど四分の一は彼等の生まれ地以外の地で生活していた。

この膨大な人口移動は国内の各地域間の不均衡の人口交流の結果であるが、しかし次の二つ
の主要な動向が特に顕著である。

一、新開地、鉱山、西部地方の農場への移動、アトグニー高原を越えて本ハイオ、ミシシッピ

一、峡谷、大草原地帯、大太平洋沿岸、そして最後には大平原地方の乾燥農業地帯への動き。

二、国内の各地域における過剰農業地帯への動き。その中には特にミッドル・アトランティック、南

部ニューイングランド、大湖地方及び太平洋地区について顕著である。この第二の型の移

動は従来新農業地帯として扱われてきた地域からの再度の人口移動である。

そこで一九三〇年についてみると、ミシシッピ河の東側で生まれた五百万の人間はその

二割で生活していた。しかし北東地方の諸州はミシシッピ河の西側生まれの人口百六十五

万以上、メーソン河、テイソン河の線の南側生まれの人口三百万とを包含してゐる。

最近の十年間における国内人口移動の顕著な型態は農村から都市への動きである。都市

に農村青年の大量の消費者である。一九三〇年から一九三〇年の間に一九二〇年に一〇オ

万五二〇オであった農村の少年少女の四割は農村を立ち去つてゐるのである。二〇オ万

至五〇オの年齢層ではこの割合は低下してゐる。この都市への人口移動は、都市がその人

口を維持せねばならぬ以上、健増せられねばならぬものである。一九三〇年の合家目にお

ける非農村人口は人口を再生産するに足るだけの十分の子供をもつていなかつた。これに
対し農村においては妊孕率令人口を六二%増加させるに十分なほどの子供が存存してゐた
のである。

農村が、その養育費を漸く返済せ得る頃に到るや都市へ移動して子うところの多く
の子供らのために、多大の負擔を育員いつ、あることは明瞭である。即ちこの人口移動に
よつて多大の金高が農村から都市へ移動するわけである。もしいま子供一人の養育費（學
校等の公共費を含む）を年一五〇ドルとすると、一五才の農村青年は二〇〇乃至二五〇
ドルの投資に値います。この割合で一九二〇年乃至一九三〇年間の農村からの純移動六百万
人は農村社会が都市に對し実に百四十億ドルに達する富を寄與したことになる。

これらの大體自動的方國內人口移動は自然資源や経済的機會に對し人口のよりよき配置
を招来する傾向をもつてゐる。一〇年代において移民の大部分はより大きくも経済的機會の
場所を察見した。或る例外はあるが、不利な土地はより有利な土地に對してその人口を喪
失していつた。最も繁榮しない社会（主として農村）は最も繁榮している社会（大都市と

工業社会)に對しその人口を喪失した。然しながらこのような國內的調整にも拘らず、前述のごとく、多少の過剩人口地帯は残つてゐる。

資派に對する人口のこの不斷の調整作用を促進するため政府が方策を施すことができか如何かは重大な問題である。永久的貧困に悩まされてゐる家族の平均生活水準を高めるために限られた機会しかもたない農村からの労働の自由な移動は奨励し、水ねばなるまい。農業に不適當な土地を政府が買上げ、厚生その他の利用へ轉換することも全般的に添うたものである。これらの過剩人口地域においては新しい企業の發展と、より多角的な農業に向つての努力がなされねばならぬ。そして政府がこれらの地域を更に悪化せしむるような方策を避くべきことはいふまでもない。例えば大きな過剩人口をもつ農村地域へ他の國々からの不熟練労働者の入殖を奨励してはならぬ。また高い賃貸率の如き人工的障壁によつて既に経済的に圧迫されてゐる地域に一層の惡條件を附け加えるようなことがあつてはならぬ。

差別出生率

人口増加率の急減に伴つて次の世代が養育される環境はますます重要なるものとなつてくる。国内のすべての部分における凡ゆる種類の家族が命の割合で減少するのであるか。それとも漸次に人々の性格を變革するより先きに国内の異なる部分における違つた種類の人口の異なる人生再生産率が存在するのであらうか。

(2) 地理的差異。特に南東地方のよき農業地域の人々は他の地域の人々よりも再生産率より急速である。もし現在の出生率と死亡率とが継続するとするならばこの国の相異なる部分の再生産率における差異は更に一層大きなものとなるであらう。

人口専門委員は新しく生まれた千人の女子が一生の間には生む女兒の数を調査することによつて出生率を測定する大度を工夫した。或る地域の人口を維持するためには二ルウ千人の女子はその一生の間には千人より以上の女兒を生まなければならぬ。女兒が妊孕年令に達するまでに生ずる死亡を補うにたるだけの余分の出生が必要なのである。この方法を用いることによつてアメリカの全州中その四分の三に及ぶ各州の白人再生産率はその人口を再生産することができなほ低いといふことが常見された。

低い再生産率の州群は南大西洋沿岸から西にむかう中西部地方の諸州、オハイオ川の北部を通り、カンザス、ネブラスカ、コロラドの諸州に達する。太平洋諸州とフロリダが更に此の群に加えられる。ミシガン州を除き、高度に都市化し工業化せる州がすべて包含されてゐることを注意せねばならぬ。

これに対し人口の維持は再生産率の高い州に依存せねばならぬ。農業的を南東地方、南西地方へ、トマック及びオハイオ川の南部から西はロッキーマウンテン脈までの各州は高い出生率の地域である。メタ、ノースダコタ、アリゾナ、アトカンサス、ケンタッキー、ウエストバージニア、ニュートメキシコは特に高い出生率で異色がある。更に小さい地域でアメリカ最高の出生率を示すものは南部のエストバートニア、西南バートニア、西部ノースカロライナ、東部ケンタッキー、東部テネシの諸州である。

(四) 民族的差異、これまで合衆国におけるメタロの数は白人、特に国内生まれの白人に比較して急速に増加してゐるといふことが信ぜられていた。が二カ三カ年現在の出生率についていへば、出生率はこれ以上低下しないと鑑定して、白人人口には倍加するの二五

の年を要するものに對し、ネグロ人口の倍加には五四の年を要することになる。この事實はネグロ人口が白人を遙に越へはしないかという觀念に判決を下すものである。その上に北部都市における、ネグロ移入人口は著しい出生率の減退をきたしている。即ち一九二五―二九年都市地域において國內生まれ白人の女子の出生率はその人口再生産率に一四%だけ不足していたが、これに對しネグロの女子におけるものは二八%の不足を示していた。もしネグロの都市移入が促進されるならば、ネグロ全体の人口再生産率は更に一層低下するのであろう。勿論豫想し難い因子がこの豫想を不當ならしめるかもしれない。とはいうまでもない。

(八) 經濟状態と出生率。高い經濟状態は低い出生率を体し、反対に貧乏な家族は平均多くの子供をもつということとは絶対に疑いなし事實である。出生率は合衆國の各地域における生活水準の向上に伴つて急速に低下する。

合衆國における最も貧困な地域の出生率はその人口を永續的に再生産するに必要な率を七七%も超過している。そして最も生活水準の高い地域における人口再生産力の一七%の

不足と対立している。

農村人口においても最も貧困な農村に生育する女子の間に出生率は最高を示している。最も貧困な地域においては現存の人口を維持するに必要を子供数の二倍以上にも達する子供がいる。これら全地域に亘り出生率の減少のための何らかの方策が有さねばならぬ。さもなければ、相当な移出民を出さねば限り、最も貧困な農業地域の農村人口は一層深刻な貧困化を伴いつつ急速に増加するであろう。

都市においても同様の貧富による出生率の差異が認められる。例之ばシカゴでは出生率が家賃月三〇ドル以下のものは月七五ドル以上のものに比較して二倍以上の高さをもっていることが明らかにとれた。全株に、不熟練労働者の出生率は知識階級の家族に比較して実際に高いということも明らかにとれている。また、相当に乃至は高度に教育された大婦は無学な主婦に比較して平均して子供数が少ないということも実証された。大体において高い学校的、または全種の訓練を必要とするような職業に従事している都市的勤労者の家族は再生産に足るだけの子供数をもっていない。

現実の差別出生率は次の世代を継ぐべき子供達の不当に大なる割合を貧困の惨害に遭遇せしめるの分ならず、貧困を両親から生まれるより多い平均子供数は国家人口を再生産する左側の経済的負擔を不均等に配分し、國家人口の再生産という特殊な負擔を最少の負擔能力しかもたない家族の上におくものである。

國民の健康と厚生

人口の數と分布の統計は國民の健康と肉体的福祉のより重要な事項については何ものをも與へてくれない。事實の中心は國民の肉体的狀態について満足するに足る統計的智識を欠いている。しかしこれらの事項についての洞察に醫學と重要な趨勢を示唆するような実証的資料の断片は存在する。

過去百年間における顯著な發展は之まで毎年多大の生命と犠牲に上つた傳染病の征服であつた。十九世紀の間中この國を困難的に襲つたコレラと黄熱病の流行は全く存在しなくなつた。天然痘は極めて稀なものである。チフス熱の部分的征服は公衆衛生分野におけるも一つの顯著な功績である。これらの進歩は死亡率を低下させ、百年以前に較べると人々の生命を相

当に延長させた。

右の如き一般的進歩の承認は、然し乍ら、この国の異なる集団の厚生における差別を無視せしめるものではなから、想像せられるように、不健康の量は経済的状态に反比例して変化する。貧富の間における健康の差異は子供について最も顕著に現われる。ウイリアムズ、シカゴ及びニューヨークからの報告によれば、富裕階級の地域に對比し貧困地域の乳児死亡率は二倍であるという。

国民の健康における重視すべき差異は全様に地域的にも存在する。結核の最高死亡率はアリゾナ、ニューメキシコ、フロリダ及びネバダに見出されるが、よかり之はこれらの地方の健康による気候を求めて他地方から病者が移入して来ることにその大部分の理由を異うてゐるようである。が結核死亡の異常に高いペンネシル、バージニア、ケンタッキ及びメリランドにはそのような説明は適用し難い。その高結核死亡率は、大体において、その低い經濟状態、貧しい食事、それに恐らく一般的に無知のために最善の閉病法を知らぬことによる。よるな社会的條件によつて説明せられるであらう。

不適當な栄養による不健康や低い生活力に人口の相当多くの部分が罹りまわっているといふことが認められる。肉体的健康は根本的に食事によつて影響せられる。人々の活力に対する栄養不良の影響を測定することは、明らかに不可能であるけれども、食事の欠陥による疾病の死亡状況についてその一端を観察することはできる。マラケラの死亡率の地域的差別は之を最もよく明示するものである。十分に食糧のなほこと乃至は悪い種類の食事は結核のような種類の病気に患ひ易くする。十分に食糧をもつていなければ勿論正常な食事を買うことができない。かゝる支出でも正常な食事により接近するようにすることはできる。

肉体的昇進と健康の改善については過去わづか二三十年間に着しい進歩が成就された。人は五十年前に比較すると長身に在り、胸圍も広くなつた。出生時における平均寿命は十七年以上も延長された。しかも、チブス熱の如きは或る地域では今日もなお不必要に大きな犠牲を出している。この國の他の地域において既に達成されてくる健康的に最も患ひた條件が國のすべての部分における全集団に拡大されるならば、毎年約四十万からの死亡を減少させることができるであらう。

機會の均等

人口の趨勢を調査し研究することとは個性の發展のための機會の均等というアメリカ的理想を達成するための不測の關辛において國家、州、地方の当局者が彼らの努力を向けなければならぬ方向を指示する方向板を提供せんがためである。

一般の注意はまづ經濟的機會の問題に向けられる。或る地域の狀態は自然資源と人口との不利な關係に制限されていゝることが觀察された。かゝる地域の生活水準を引きあげる可能性は現在人口の一部を他へ移動させるか、または經濟的調整の新しい型の發展によるかである。しかし機會に恵まれぬ地帯からの人口の有効な移動は他の地域の産業的または商業的發展に依存せねばならぬ。雇傭機會の一般的増加は、地域の過剰人口の問題を解決するために最も根本的な問題となる。数百万の労働者の失業は悲劇であり、明らかに人的資源の浪費である。公共に対する潜在的貢獻は實現さずして放置され、個人の發展と幸福は毀損せられる。完全な人口配置はより適當にして進歩的な經濟の樹立に依存する。

國の各地方に大きな教育の不均衡が存在するということには明らかで証拠がある。一般に

成人に対する子供の割合の大きい地域は特に教育的利益が最も著しい状態にある。子供の教育費の負担状況はニロオ乃至六〇オの生産年令人口千に対する小學校學令兒童数の割合によつて測定せられよう。その数字はサウスカロライナ五二三、ノースカロライナ四九一、ウエスタバージニア四三八、アラバマ四一一、ニューメキシコ四四五、ユタ四三八と書つてゐる。カリフォルニアではその數値は僅かに二二五であり、ニュージャージーでは二五四、イリノイスでは二七〇にすぎぬ。即ち教育の必要ある子供の人口に対する相對的負担は上記の大州においては一エーヨークのそれに対比し七〇%から一〇〇%ほど高いことになる。特に田舎の青年による學校が供給さぬ收げならぬ。國全体として五オ一七オの學令兒童の三一%は農村に住んでゐるにも拘らず、國民所得においてはハブルツキング研究所の一九二九年推計によると僅かに九%が農村人口に歸屬するに過ぎないのである。極西地方を除いては合衆國の各地域に亘つて農村人口は國民所得の割合におけるより一層大きき割合の學令兒童をもつてゐるのである。がこの子供數と國民所得との間の不均衡は南東地方の諸州において特に著しく、程度に違ふ。南東諸州の農村人口は全國學令兒童の一三%を占めてゐるにも拘ら

地域の発展の上に及ぼさざるをため。よきにつけ悪しきにつけ移動者たちは彼らが成人として生活する社会的、経済的、または政治的生活共同体の中に適入し、或は彼らは彼ら自身と共に彼らの智識と無智とを持ちきたし、また社会的諸政策の方向に巧みに參與する能力とまた非能力とをもぎ込んでくるのである。

其他の研究

人口に關する多くの事柄はなほ複雑にして未だ不完全にしか判明してゐない。国勢調査は十年目毎で、その間のことは不明である。しかも集計せられる材料は限られてゐる。国勢調査は更非とも五年目毎に行はれねばならぬ。

また中央政府に所屬する人口研究のための正規の研究員も増員されねばならぬ。その部門は多くの仕事に分かちかゝるであらうか、その計畫を強力に遂行するに十分を費用も不足してゐる。

地方の独立性强さの大きい合衆國においては人口研究に關する地方的研究者の強化と増員について也將に努力せねばならぬ。かかる地方的研究者は人口の経済的及び社会的關係につい

て、また移民や再生産や健康などについて重要な研究を遂行するであろう。かつ之らの事項
ついでに国土計画局の仕事の増加も考えねばならぬ。